

灌流システムで便利なアクセサリたち

電気生理・イメージング実験では、細胞を生かすために薬液などを“灌流(かんりゅう)”させるシステムを組み上げる必要があります。今回は、灌流システム製品について、簡単にご紹介したいと思います。

ナリシゲ製品で関連するものには、まず CK-1 チャンバーディッシュがあります。この製品は、顕微鏡下で細胞を観察するためのディッシュ(受け皿)であり、灌流システムで肝となる製品のひとつです。このディッシュの最大の特徴は、研究者のご意見を取り入れたこだわりの形状であることと、又、カバーガラスを交換式にしたことで洗浄や滅菌といった手間を省けることにあり、ご好評いただいております。(詳しくはバックナンバー NARISHIGE WEB NEWS No.041 を参照ください。)

この CK-1 を弊社製 ITS (またはオリンパス製顕微鏡ステージ) の中座に配置することのできる CK-1A、CK-1 用取付プレートもありますので、セットでお考えいただけると良いかと思います。(その他顕微鏡ステージ対応用の CK-1 取付プレートは特注にて承ります。)

灌流システムを組みあがる際、サンプル周りに混在する灌流のためのチューブ類を固定するには、ベタベタして跡も残る粘土・パテなどを使用するか、便利でも海外製で高価なマグネットを使用するか、調整しづらい紐やケーブル留め等を利用する、が主な選択でした。位置調整が必要であれば、弊社では小型マニピュレーターシリーズの YOU 製品をご紹介していましたが、純粋にチューブ固定のみの目的としては機能があまりすぎて場所もと、値段としても高いというご意見をいただいていた。

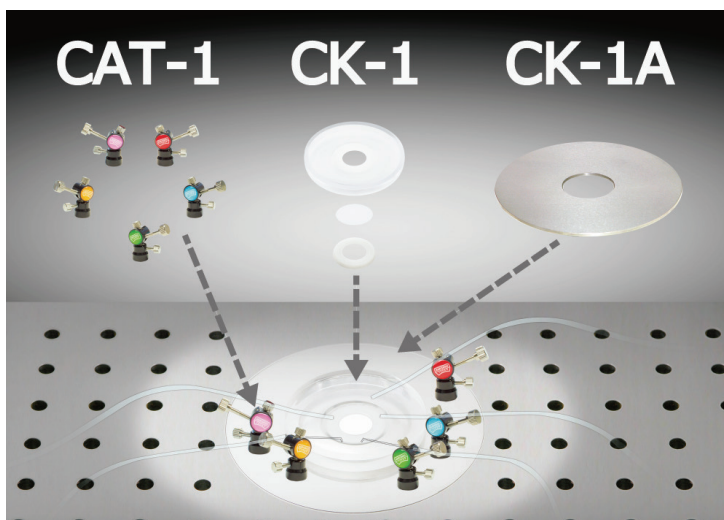
こうした経緯があり、灌流システム向けとしてだけでなく、チューブ類や電極をシンプルに固定し、簡単な位置・角度調整が行えるアクセサリとして CAT-1 チューブクランプを発売致しました。

【CAT-1 の特徴】とにかくシンプル！ 余計なものは削ぎおとしたシンプルさ。

- ・極力、小さく！
 - ・気軽に、簡単に！
 - ・デザインも重視！
- 試料周りに置いても邪魔になりにくい小型サイズ。
粘土やパテと同じぐらい気軽に、片手で配置が可能な小型マグネット。
5色のカラーで個々のチューブ判別を簡単に。



垂直方向に約45° / 水平方向に360° 旋回 の可動域。高さ約29mm。φ1~4mmのチューブ・電極・プローブを保持。左右仕様切替可能。



アイデア次第で多種多様に活躍できる便利なアクセサリです。
5個セットでの販売で、できるだけお求めやすい価格にしました。

CK-1A、CK-1、CAT-1 を3点まとめて実験に合わせたセットを組んでおけば、CK-1A ごとまるまる交換するだけで「組み上げ&後片付け」をする事もできます。

同僚の研究者と顕微鏡を共有しており、1システムに複数の実験者がいるような場合には、CK-1A、CK-1、CAT-1 を“マイセット”として、ひとり1セット所有していただければ、より便利な灌流システム共有をご提供できるかと思います。

灌流システム向けアクセサリとして、小さいながら大きな力を発揮するニューフェイス、CAT-1 を宜しく申し上げます！

ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。